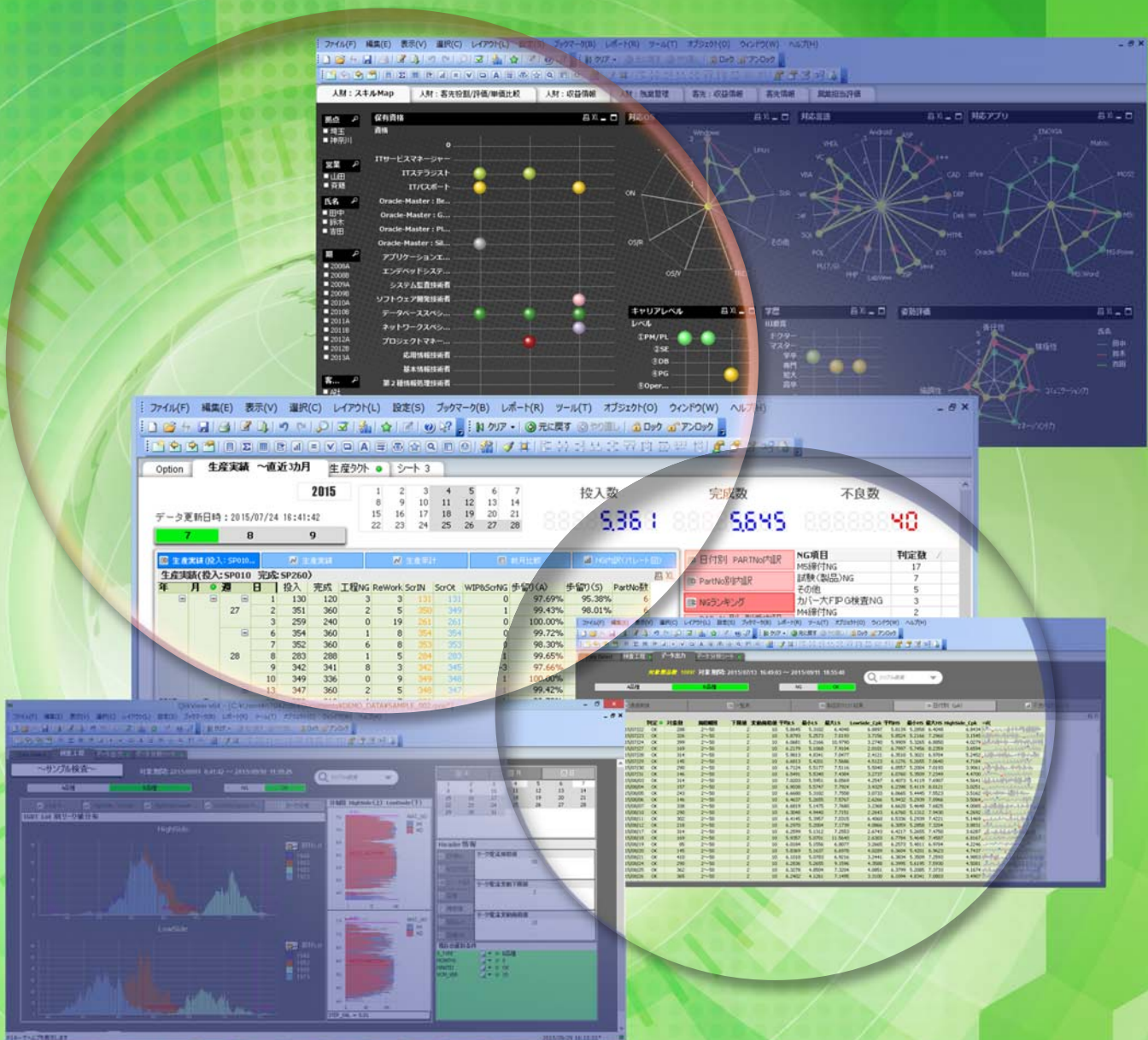


TOSHIBA

データ活用プラットフォーム

QlikView



多種多様なビッグデータの"Business Discovery"プラットフォーム

データから今まで気が付かなかったビジネス課題を発見 “Business Discovery” 環境を “QlikView” で構築支援致します



I

データ活用シーンでの課題

「膨大なデータの利活用の仕方がわからない」

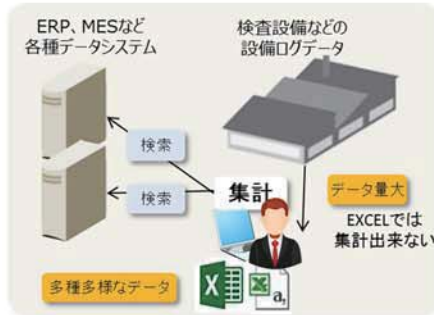
- ・データ量が大きく、時系列でのデータ分析が難しい
- ・ログ、計測器データ等蓄積されたローカルデータの活用が出来ていない

「多種多様なデータの検索、集計作業が手間」

- ・数値の羅列だけでは微妙な変化点、ポイントが伝わりにくい
- ・既存システムのサービスでは情報が足りない

「帳票だけで伝えたい事が表現出来ない」

- ・今の定型レポートだけでは用途に限られる
- ・システム連携がされていない、複数オペレーションによるEXCELなど2次作業が必要



「蓄積された多種大量なデータを有効に活用したいのに、事前の集計作業に時間が掛かり、意思決定するまで分析しきれない」

II

解のご提案

QlikViewなら、簡単なオペレーションで完結できます。

QlikViewの特徴

シンプルな構造

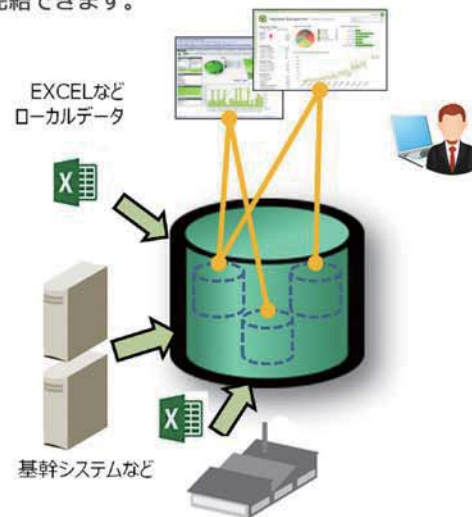
メモリへのデータ展開によりデータ抽出処理の高速化

インメモリ

あらゆるデータソースから大量の情報を速やかに統合

連想技術

最先端のグラフィック技術で使いやすいユーザーインターフェース



III

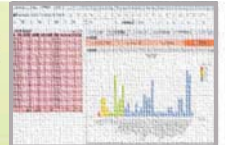
活用例

【生産現場において】 データ連携、テキストファイルデータ、時系列での監視

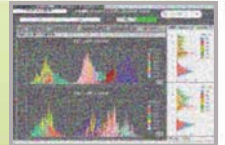
製造現場で稼働するMESのデータサービス機能利用。大量データの絞込み、トレンド、取得項目間の関連分析で活用



サプライヤーの部品情報、他拠点システムとデータ連携 出荷～製品～部品詳細情報のトレースバック/トレースフォワードの実現



生産設備でログデータ（大量CSVデータ）の保管 設備情報の可視化し、変化点の監視及び設備調整に活用



ダッシュボード (生産、出荷実績など生産状況の可視化) 実績情報は定期的に更新

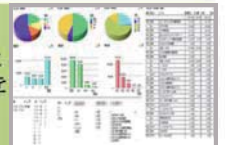


【スタッフ現場において】 ローカル、システムデータの連携

各拠点の生産情報を収集し、本社に居ながらにして生産状況を把握。⇒販売見込みなど販売情報と生産情報を統合する事により進捗を可視化



個別システム+ローカルデータの連携 ⇒営業の売り上げ情報は顧客別、BU別など個別データとして取込み集計作業はQlikviewでアドホックに軸変更をしながら多角的に



IV

基本動作環境

QlikView November 2017 (2018年2月現在)

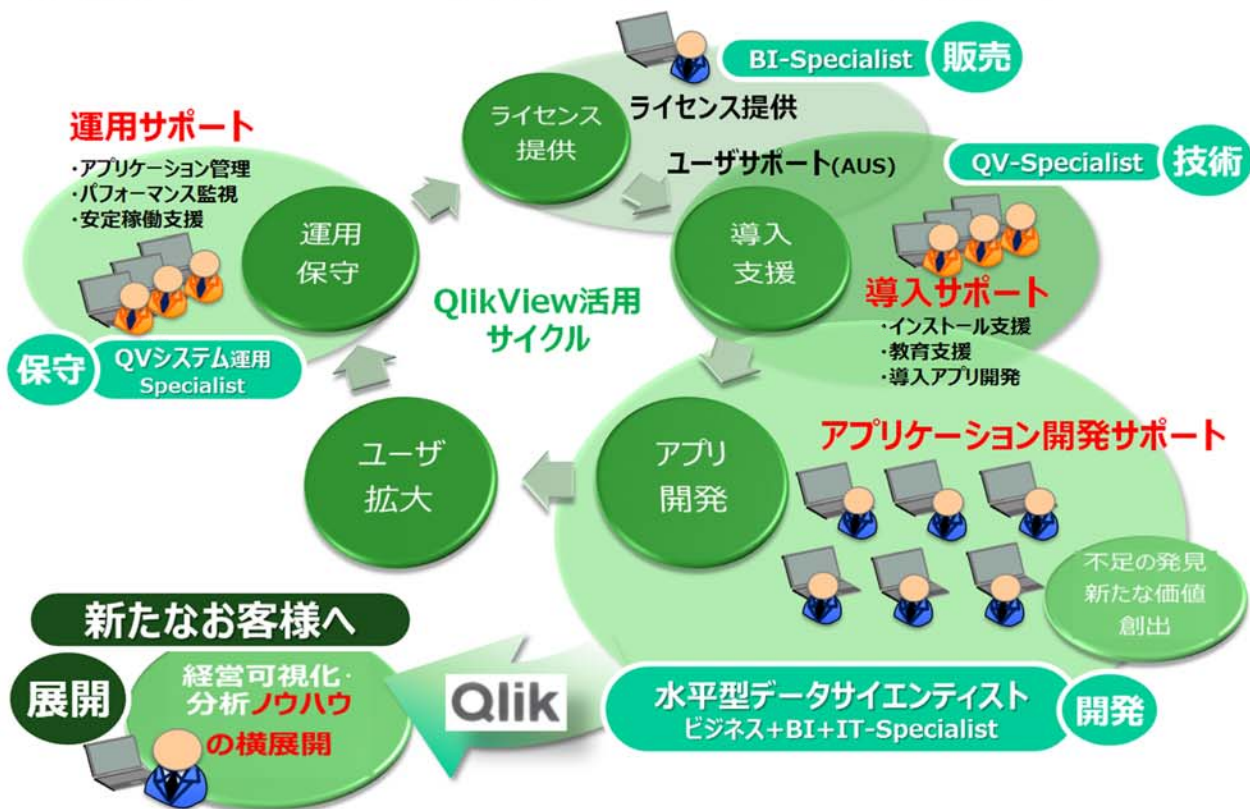
O S	Windows Server 2008 ×64 Edition	CPU	Multi-Core x64と互換性のあるプロセッサ	
	Windows Server 2008 R2		メモリ	4GB以上推奨※1
	Windows Server 2012		HDD容量	450MB以上の空き容量が必要
	Windows Server 2012 R2		セキュリティ	Microsoft Active Directory NTLM サードパーティ認証※2
	Windows Server 2016		NETフレームワーク	4.5.2以降
	開発及びテスト目的のみ			
Windows7 ×64				
Windows8.1 ×64				
Windows10 ×64				

※1 QlikViewはインメモリ分析技術を採用しています。取り扱うデータの容量によって変動する場合があります。
 ※2 サードパーティ認証を使用するには「QlikView Server Enterprise Edition」が必要となります。

V

当社のデータ活用ソリューション

東芝グループ内企業でのITシステム構築からデータ活用に貢献してきた実績とノウハウを活かし、“部門レベルからグローバルレベルまでの情報共有化とQlik製品による活用成果の最大化”に向け、導入支援からアプリケーション開発支援、円滑な運用に向けての運用支援までトータルでサポート。



● 本資料に掲載している技術情報は、技術内容を説明するためのもので、その使用に際して当社および第三者の知的財産権その他の権利に対する保証または実施権の許諾を行うものではありません。
 ● QlikViewは QlikTech International AB. の登録商標または商標です。
 ● 本資料の掲載内容は、技術の進歩などにより予告なしに変更することがあります。

東芝デベロップメントエンジニアリング株式会社

〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地 (ソリッドスクエア東館18階)

メール : DME-contact-us@ml.toshiba.co.jp URL : <https://www.toshiba-dme.co.jp/dme/>

このカタログの掲載内容は2019年4月現在のものです。